

電磁応用

第52号 1999年4月

平成10年度第2回理事評議員会議

去る、平成11年3月8日、新宿センチュリイホテル於いて、平成10年度第2回理事評議員会議を開催し、平成11年度事業計画を承認し、今後の運営について討議を行った。

資料 第1号議案 平成10年度事業経過報告書

第2号議案 平成11年度事業計画書

第3号議案 平成11年度予算計画書

添付資料 研究所名簿

「ハードウェア／ソフトウェア協調設計に関する研究」

理事・研究員 大附 辰夫

システムVLSI全体は、結線論理により実現されるハードウェアとマイクロプロセッサを用いたプログラム論理によるソフトウェアとに分離することができる。特に、ハードウェアとソフトウェアによる実現部を同時に最適にする設計技法は、ハードウェア／ソフトウェア協調設計と呼ばれる。

本研究ではハードウェア／ソフトウェア分割手法の基礎理論の確立とハードウェア／ソフトウェア分割システムの構築を目指す。ここでは、システムVLSI全体の概略仕様を入力とし、ハードウェアおよびソフトウェアの詳細設計を開始できるレベルの仕様を合成することを考える。ハードウェア／ソフトウェア分割システムは、構成要素として(1)アルゴリズム、アーキテクチャのデータベース、(2)

